

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	37410003
授業科目名(Course name)	管楽器奏法（7）		
担当者(Instructors)	清水 祐男		
開設学部学科(Department)	文学部 音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	263
開講クラス(Class)	音4管	開講形態 (Course format)	実技
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 木曜 2限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))	5,000	履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	
他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)			

■授業の概要(Course outline)
一対一のレッスンで個々の学生の特徴と必要に応じた教則本や器楽作品を選択する。具体的には近代の作品や学生のレベルに合せたエチュードを適宜取り上げる。そして、学生一人一人の個性を尊重しながら、より良い音楽性が自然に発揮できるようにするために、さらに高度な技術を習得させる。 【実務経験】 オーケストラや吹奏楽、室内楽分野での演奏経験豊富な教員が、その経験を生かして実際の演奏現場でしか得られない演奏のノウハウなどを交えながら講義する。

■到達目標(Course goals)
近代作品に取り組み、現代作品の礎を身につけている。

■履修上の留意点(Important points)

■学位授与方針 (Diploma policy)
1. 知識・理解 音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。 ◎
2. 汎用的技能 音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。 ◎ 日本語や英語で多様な人々とコミュニケーションを行うとともに、音楽演奏を通じて様々な楽想を適切に表現し伝えることができる。 ◎
4. 統合的な学修経験と創造的思考力 これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな研究課題に取り組むことができる。 ◎

■授業計画(Lesson plan)
1. 曲目の選択と指導方針の確認
2. アルペジオ練習（１）：高度な♯系の調を様々なアーティキュレーションで行う。
3. アルペジオ練習（２）：高度な♭系の調を様々なアーティキュレーションで行う。
4. 複雑な半音階を様々なアーティキュレーションで行う。

5.	ハーモニクスの練習
6.	練習曲（１）：高度な持続力の必要な長い曲
7.	練習曲（２）：高度で複雑なフレージング曲
8.	近代の小品：タファネル
9.	近代の小品：ゴーベール
10.	ピッチの修正
11.	クロスフィンガリングの練習
12.	口腔内の変化について
13.	総合表現（１）：試験曲に取り組む
14.	総合表現（２）：試験曲の伴奏合わせ
15.	試験と講評

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)
事前練習をしておく。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)
・レッスンの内容をしっかり身につけられるよう各自で復習・自主練習を行うこと。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)
・テキスト：各自の楽器と技量に応じて適宜選択する。 ・参考書・参考資料等：各自の楽器のDVD、CDを視聴する。

■評価方法(Evaluation method)
試験 70% 平常点 30%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)
授業後